

感染症情報 3月4日～10日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,405例(堺市	77例)
②溶連菌感染症	586例(堺市	84例)
③RSウイルス感染症	225例(堺市	22例)
④伝染性紅斑	83例(堺市	4例)
⑤咽頭結膜熱	71例(堺市	9例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 964例(堺市 83例)

感染症報告数は前週比6.4%増の2,589件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、咽頭結膜熱の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週比7%増、堺市は21%減であった。溶連菌感染症は府下で7%増、堺市で45%増であった。RSウイルス感染症は府下で14%増、堺市で18例→22例であった。伝染性紅斑が府下で3%減、堺市で2例→4例となった。咽頭結膜熱が府下で25%減、堺市では8例→9例であった。

インフルエンザは府下で前週1,381例→今回964例となった。30%減で定点当たりの報告数は4.57→3.18となり、引き続き大阪府全ブロックで減少が続いている。堺市では前週145例→今回83例となった(43%減)。

麻疹の報告が府下で今回3例あり(堺市はなし)。麻疹の年始からの府内累計報告数は107例となった。風疹も府下で同8例あった(こちら堺市はなし)。風疹の府内累計報告数は82例となった。